

道の駅整備事業の概要

1. 整備コンセプト・基本方針

心に爽やかな風が吹きわたる龍ヶ崎での安らぎと賑わいの場づくり

～龍ヶ崎の認知度アップを図り、地域の元気と交流を創る場～

整備方針 1 多くの人が集う安らぎの場

地域の豊かな自然環境や景観を楽しみ、心安らぎながら休憩できる場を整備します

整備方針 2 認知度アップ・地域情報の発信の場

道路情報や災害時の緊急情報だけでなく、本市の認知度とイメージアップにつながる情報発信の場を整備します

整備方針 3 地域資源の活用と交流により地域の元気を創る場

地域特産品の販売や飲食等を通じ、地域連携の好循環を図る場を整備します

2. 導入機能

【休憩機能】

- ①すべての利用者にとって安全でわかりやすい駐車場
- ②高齢者や障がい者、子育て世代など、誰もが使いやすいトイレ
- ③来場者の気軽なりフレッシュの場となるような休憩施設 など

【情報発信機能】

- ①道路情報や龍ヶ崎市の観光情報を紹介するインフォメーション機能
- ②観光コンシェルジュの配置や公衆無線LANを活用した多言語対応 など

【地域連携機能】

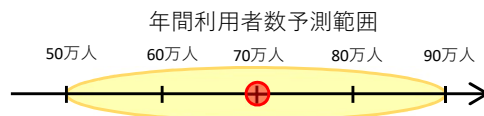
- ①地場産の新鮮野菜や龍ヶ崎コロッケをはじめとした加工食品、工業製品を取りそろえた物販スペース
- ②牛久沼を眺めながら気軽に飲食が出来るフードコートや、市民活動などの際には間仕切りによって可変的に生まれる多目的スペース
- ③牛久沼の水辺を生かした遊歩道や各種イベントに対応する広場 など

【その他機能】

- ①災害時等に対応する備蓄機能
- ②無線LANや多言語による案内などのインバウンド対応 など

3. 年間利用者数・年間売上高の推計

- ①立地条件が類似する道の駅の事例から立ち寄り利用率を算出
- ②マーケティング調査（ハフモデル）による出向率を算出



⇒年間利用者数を70万人、年間売上高を約7.8億円と推計

※開業当初については50万人程度の来場者を想定

4. 配置計画・建物パース



【道の駅イメージ図】



【道の駅配置図】



- 整備予定地：龍ヶ崎市佐貫町地内（国道6号牛久沼沿い）
- 整備面積：約28,600㎡
- 建築概要：地域振興施設棟（市整備施設） 鉄骨造一部2階建て 延床面積／約1,400㎡
トイレ・情報提供施設棟（国整備施設） 木造1階建て 延床面積／約320㎡
- 駐車場：小型車158台（身体障がい者用4台含む）／大型車35台

5. 管理・運営計画

【管理運営体制の整備方針】

- ①道の駅は公益性と収益性を併せ持つ施設であることから、多様な利用者ニーズに対応するため、施設運営にあたっては民間ノウハウによる収益性とサービスの質を確保する
⇒民間企業による指定管理者制度を活用した管理・運営体制を整備
※指定管理者の候補者として、ファーマーズフォレスト・東急ハンズ共同企業体を選定
- ②道の駅は地域特産の販売・飲食の提供だけでなく、イベントの場として市内の団体や市民が施設運営に関与することが可能
⇒各種団体や市民と施設運営者が連携し、地域の意欲を活かす体制を整備
- ③道の駅の賑わいを確保するため、直売所をはじめとした物販施設における品揃えを充実
⇒生産者との連携による品揃えを充実するための体制を整備

6. これまでの主な取組

- 平成27年11月 龍ヶ崎市道の駅基本構想策定
- 平成29年2月 龍ヶ崎市道の駅基本計画策定
- 平成29年3月 国と「道の駅の一体型整備に関する覚書」締結
- 平成30年8月 指定管理候補者選定
- 令和2年3月 道の駅基本・実施設計業務完了